

# JIS

## 標準物質を用いた校正 (検量線が直線の場合)

JIS Z 8461 : 2001

(ISO 11095 : 1996)

(JSA)

平成 13 年 3 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

## まえがき

この規格は、工業標準化法第12条第1項の規定に基づき、財団法人 日本規格協会 (JSA)から工業標準原案を具して日本工業規格を制定すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本工業規格である。

JIS Z 8461には、次に示す附属書がある。

附属書A（規定） 記号及び略語

附属書B（規定） 繰返し数が異なる場合の基本的な方法

附属書C（参考） 参考文献

---

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成13.3.20

官 報 公 示：平成13.3.21

原 案 作 成 者：財団法人 日本規格協会（〒107-8440 東京都港区赤坂4丁目1-24：TEL 03-5770-1573）

審 議 部 会：日本工業標準調査会 基本部会（部会長 今井 秀孝）

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省 産業技術環境局標準課 産業基盤標準化推進室 [〒100-8901 東京都千代田区霞が関1丁目3-1：TEL 03-3501-1511（代表）] にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文 .....	1
1. 適用範囲 .....	1
2. 引用規格 .....	2
3. 定義 .....	2
4. 一般原理 .....	2
5. 基本的方法 .....	3
6. 基本的方法の各ステップ .....	4
7. 管理方法 .....	11
8. 基本的方法の代替となる二つの方法 .....	14
9. 例 .....	17
附属書A(規定) 記号及び略語 .....	26
附属書B(規定) 繰返し数が異なる場合の基本的方法 .....	28
附属書C(参考) 参考文献 .....	30
解説 .....	31